

臨床腫瘍科

がん診療における確かな情報を提供し、エビデンスに基づく最新の治療を実践します。



診療科
ホームページ
QRコード



得意とする疾患と担当医師

次の疾患に対する薬物療法

●浜本 康夫（主任教授、診療科長、日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医・指導医）

食道がん、胃がん、大腸がん（結腸がん、直腸がん）、胆道がん、膵がん、希少がん（原発不明がん、GIST、軟部肉腫など）

●末永 光邦（准教授、日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医・指導医）

胃がん、大腸がん（結腸がん、直腸がん、肛門管がん）

●加納 嘉人（講師、日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医・指導医）

頭頸部がん（口腔がん、唾液腺がん）、希少がん（原発不明がん、軟部肉腫など）

外来日（初診）	月	火	水	木	金
午前					
午後		○ （隔週）			○ （隔週）



特色・診療内容

臨床腫瘍科は4大がん治療のうち、薬物療法（化学療法）と免疫療法（免疫チェックポイント阻害剤）を担当します。がんの診断の時期、進行病期（ステージ）、進行状態などは患者さんごとに異なるため、外科手術や放射線治療の適応があれば、これらを組み合わせた集学的治療を提案するのも当科の役割です。そのため、患者さんごとに他科と連携して適切な治療方針を提供しています。薬物療法に関しては日本臨床腫瘍学会のがん薬物療法専門医（腫瘍内科医）を中心に治療方針決定から臨床実地まで行い、専門性の高い医療を提供しています。臨床腫瘍科はがんゲノム診療科と緩和ケア科と連携しています。がんの標準療法が効かなくなった場合でも患者さんの状態が安定していれば、がんゲノム診療科で遺伝子パネル検査を行い、新薬・治験などの治療選択肢がないか模索する体制が整っています。一方、がんに伴う症状の緩和については緩和ケア科と医療連携支援センターのサポートのもと患者さん・ご家族のQOLを高められるように心がけています。



お願い

事前に紹介患者さんの診療情報の提供にご協力ください。

1. 全身状態不良または重度の臓器機能障害がある場合は薬物療法の適応がないため、治療適応を事前に判断することで不要な通院による身体的・経済的負担を避けることにつながります。
2. 診療を行う際は、がん種によって担当する医師を決定します。

【外来】初診事前予約受付（地域連携室）

TEL 03-5803-4655（平日8:30～17:00）

※詳細はP.6をご覧ください。

【入院】転院依頼（入院支援室）

TEL 03-5803-4506（平日8:30～17:00）

※詳細はP.7をご覧ください。